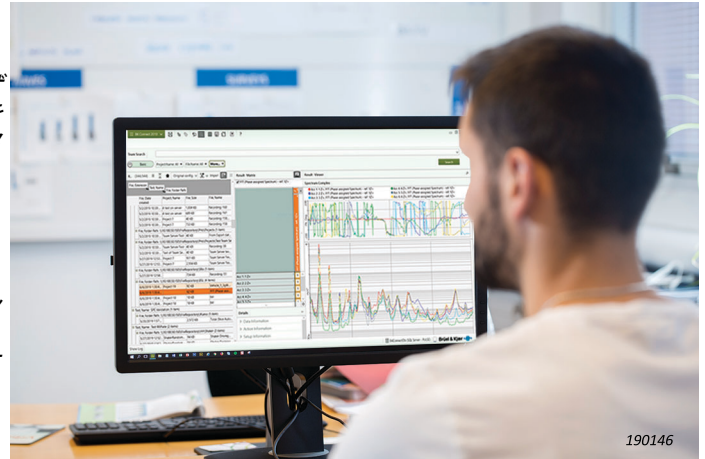


BRÜEL & KJÆR® データ分析ソフトウェア

BK Connect データ ビューア
データビューア モジュール、ファイルインポーター オプション、
チームサーバー オプション

BK Connect® は、データ処理、データ管理、レポート作成のみならず、業界トップのLAN-XIハードウェアを使った多チャンネルデータ収集が可能で、完全一体型のソリューションです。組織内の様々なユーザーのニーズに適用するために、革新的なユーザーインターフェースを簡単にカスタマイズすることができ、熟練したユーザーもオペレーターも最大の効率と高い生産性をもって業務を行うことが可能です。

BK Connect のコアアプリケーションは汎用の音響振動エンジニアリングのために設計されています。コアアプリケーションは、リアルタイム測定やデータ処理用のフレキシブルで広範囲なツールを提供します。これにより、繰り返し行われる標準化された試験から複雑なトラブルシューティングといった、幅広い業務シナリオに対応することができます。



190146

用途と特徴

用途

- 一般的な振動や音響データの分析
- データ管理 - 測定、分析データの検索、表示、比較
- 分析プロジェクトからデータのエクスポート、およびインポート
- ユーザー定義可能なレイアウトで、任意の選択したメタデータを含めたレポートを、シンプルかつ効率的に作成
- 組織内のデータ共有

特徴

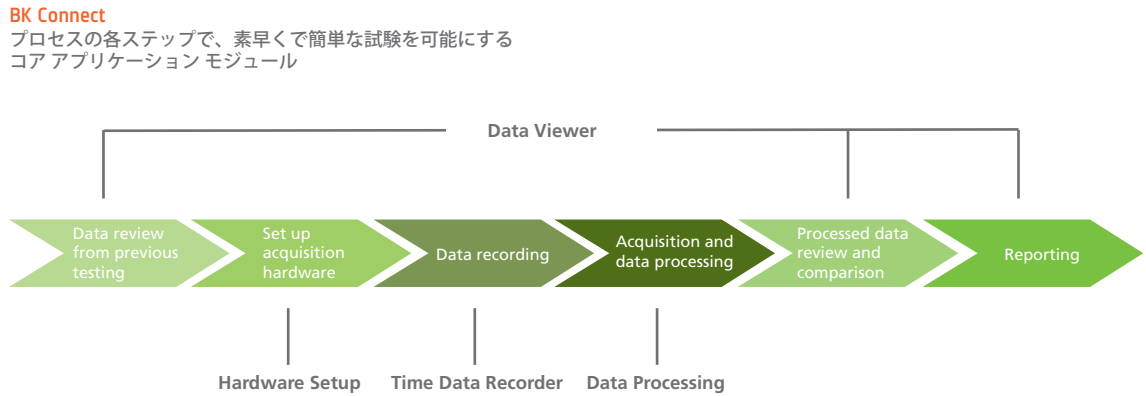
- Microsoft® SQL Server® を基にしたローカルのプロジェクトデータベース
- プロジェクトデータは、PCのローカルチームサーバーリポジトリにも保存可能
- パワフルなデータ閲覧
- ユーザーの設定したメタデータを使ったソート及びフィルタによるデータ表示
- Microsoft® Office 製品を使用し、テストプロセスに統合させたレポート作成
- Microsoft® Word および PowerPoint® のテンプレートベースの高速な自動レポート作成
- ひとつのプロジェクト内で複数のテスト、セットアップ、アプリケーションを含み、ワークフローに合わせて最適化されたユーザーインターフェースとデータ管理
- 習得と使用が容易で、トレーニングとテスト時間の削減

BK Connect のコア アプリケーションには、以下のモジュールがあります：

- BK Connect データビューア：データ管理、表示、レポート作成
- BK Connect ハードウェアセットアップ：トランスデューサとフロントエンドハードウェアの設定
- BK Connect タイムデータレコーダ：専用の時刻歴データ収録とレビュー
- BK Connect データ処理：リアルタイム測定と時刻歴および関数データの処理

それぞれのアプリケーションは、試験や分析の中の一連の業務を遂行するための自己完結型ソリューションとして設計されています。業務を実行するためのモジュールを選択したり、機能を拡張するアプリケーションを組み合わせたりして、音響・振動の試験プロセスのステップを素早く簡単に完了するための高効率なワークフローを作成できます

図1
BK Connect
コア アプリケーション



170250

ニーズに合わせたライセンス

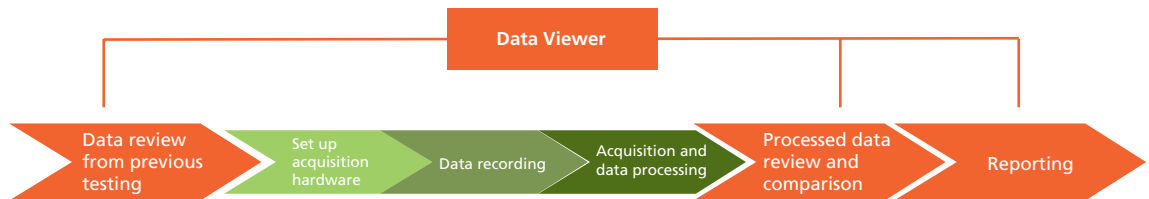
BK Connect Data Viewer 8400型は、フリーライセンスで、BK Connect Hardware Setupを除くすべてのアプリケーションで必須です。

4つのコアアプリケーションは、スタンドアロンで使用することも、メインアプリケーションであるBK Connect データ処理に組み込むこともできます。データ処理アプリケーションは、純粋に時間軸または周波数データの後処理を行うためのものですが、ハードウェアセットアップライセンスと合わせて、リアルタイムで測定することもできます。また、タイムデータレコーダライセンスがあれば、試験データの収録と後処理を同時に行うことができ、最終結果やレポートを迅速に作成することができます。

BK Connect データビューア

BK Connect Data Viewer

プロジェクトとデータ管理、基本的なデータ比較、統合されたレポートを提供する、基本アプリケーションモジュール



170251

BK Connect Data Viewerは、ローカルデータベースを参照し、メタデータの定義、メタデータによるデータベースの検索、データのインポートとエクスポート、フレキシブルなデータ表示、レポート作成のためのツールを提供します。

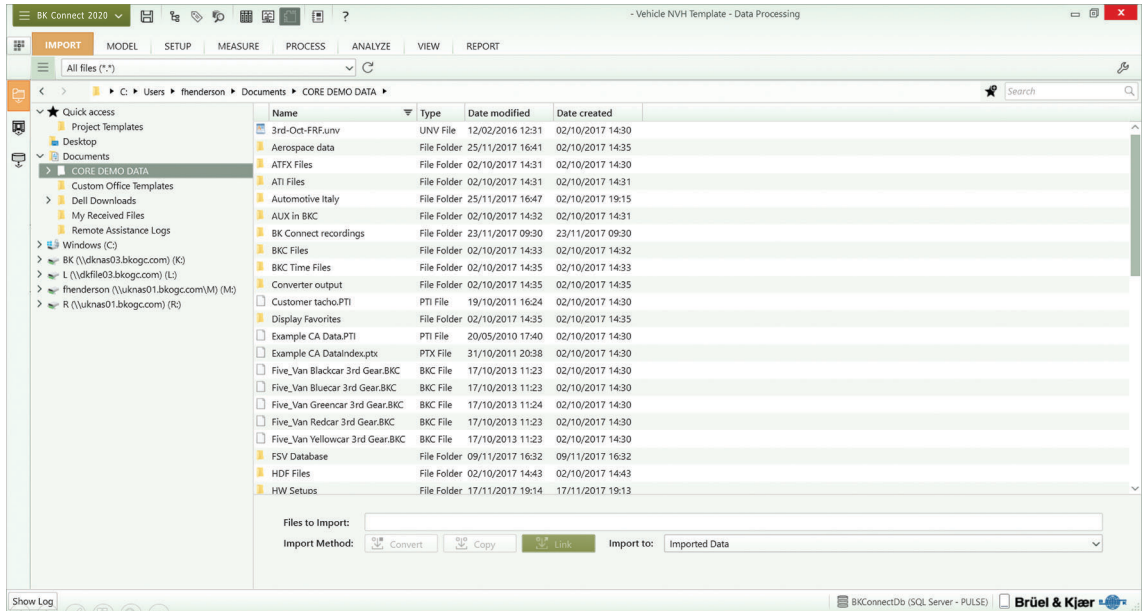
8400型 BK Connect データビューア (フリーライセンス)

8400型では、BK Connectデータベースへの接続、メタデータによるデータ検索、データの表示や比較、Microsoft Officeツールでのレポート作成が可能です。また、プロジェクト、テスト、セットアップに関するメタデータを保持したネイティブのBK Connect (*.bkc)形式でデータをインポートまたはエクスポートすることもできます。組織内でのコラボレーションツールとして使用でき、チームメンバーから送られたデータベース、プロジェクト、データファイルをインポートして、そのデータの表示と比較を行い、Microsoft® Word や PowerPoint® を使用して作成したレポートを他のチームメンバーと共有することができます。

8400型には以下のツールが含まれます:

- ファイルインポート: BK ConnectとPULSE Reflexの時刻歴や関数データのファイルインポート (*.bkc および *.csv)
- メタデータエディタ: BK Connectデータベースへのデータ保存のための、メタデータ および device under test (DUT)の設定
- プロジェクトブラウザ: データ管理のための基本ツール。機能は、データ検索、フィルタ、選択、データ記述子の編集
- グラフィカルディスプレイ: ディスプレイにデータをドラッグ&ドロップ。レポートにディスプレイの表示内容をコピー・ペースト
- マイデータ: 所望の方法でデータを整理。現在のプロジェクトのあらゆるアプリケーションからデータをコピー、もしくは検索ツール経由でデータベース内の他のプロジェクトのデータをドラッグ&ドロップ
- レポート作成: レポートオーガナイザには、利用可能なテンプレートとそれから作成されたレポートのすべてが表示されます。提供されているテンプレートからレポートを作成、または、既存のレポートからカスタマイズされたテンプレートを作成したりすることができます。

図2
BK Connect Data Viewerは、BK Connectの基本的なフレームワークとデータ管理コンポーネントを提供します



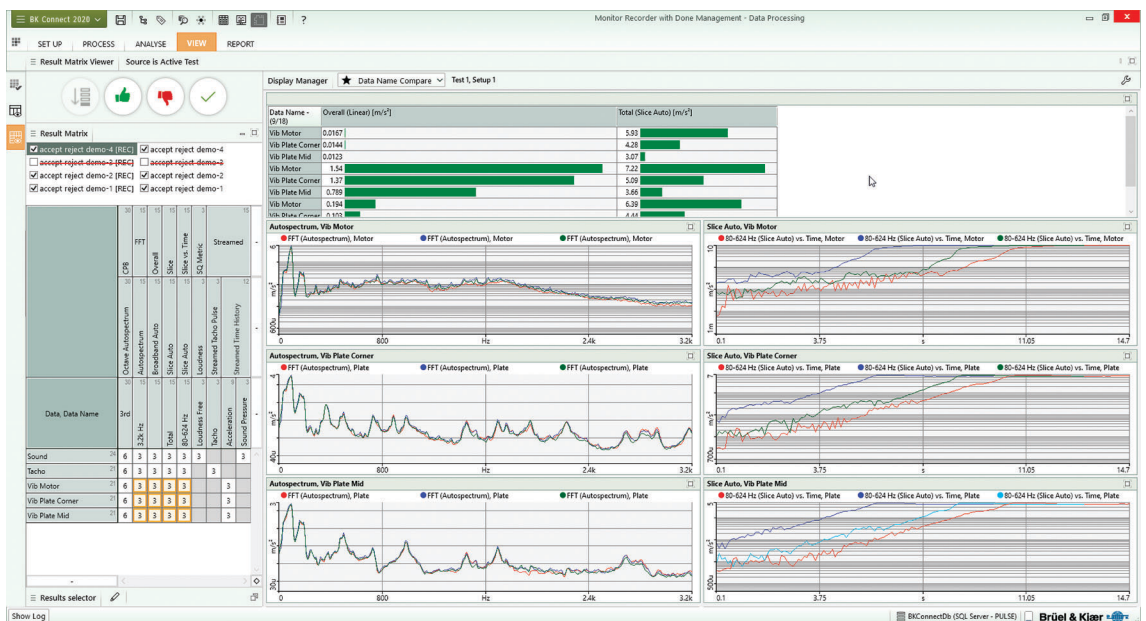
8400型で利用できる機能はすべて、アプリケーションを追加してもそのまま利用可能です。

8400-A型 BK Connect データビューア (advanced)

8400-A型は、8400型に下記の高度なデータ表示機能とレポート機能を追加します:

- データテーブルビューア: 強力なフィルタ、ソート機能と自動レポート作成機能を備え、大量のデータを柔軟性の高い表形式で表示します。
- 結果マトリクスビューア: 大量の試験結果をマトリクスに整理し、データの選択、比較、レポート作成が簡単に行えます。
- マトリクス計算: 2Dおよび3Dの関数データに対し、標準的な算術、統計演算を行います。マトリクス計算機のグラフィカルディスプレイは基本的なレポート作成機能を提供します。

図3
結果マトリクスビューアでセルを選択して5セットの結果を表示、比較しています。グラフは設定により同じ種類のデータを自動で重ね描きし、オーバーオール値は表形式で表示されます



5つのデータビューア オプションは、インポート、エクスポートできるファイルフォーマットを追加します。これらすべてのモジュールには、8400型 Data Viewerライセンス（もしくは、8400-NT型 フリーのビューア）が必要です。

8400-B型 BK Connect Native File Importers

下記のツールとコンポーネントが追加されます:

- ブリュエル・ケアーのアプリケーションで使用されるネイティブなファイルフォーマットのインポート:
 - from PULSE Time Data Recorder, PULSE LabShop and PULSE Reflex Measurements: *.pti (時刻歴データ)
 - from PULSE LabShop: *.dat (時刻歴データ、付属の*.rec ファイルも必須)、PULSE ASCII *.txt (時刻歴と関数データ)
 - Test for Ideas : *.ati (時刻歴データ、*.afu (関数データ)
 - from HBM[®] Perception[®]、Evidas[®]: *.pnrf (時刻歴データ)
 - ユニバーサル・ファイル*.unv, *.uff (時刻歴と関数データ)
 - wave ファイル: *.wav (時刻歴データ)
- LabShopおよびPDMからのインポート: PULSE LabShop やPULSE Data Manager に保存されたデータを直接インポートすることを可能にするインターフェース。BK Connect でPULSE project (*.pls) を直接開き、LabShop のMeasurement、またはFunction Organizer に接続することが可能です。
- Excel へのエクスポート: ファイルへのデータエクスポート、またはプロジェクト全体をエクスポートすることに加え、Microsoft[®] Excel[®] workbook ワークブックにデータをエクスポートすることも可能です。

8400-C 型 BK Connect External File Importers

- 外部ファイルフォーマットのインポート
 - from ASAM-ODS : *.atfx (時刻歴、関数データ)
 - from DSPCon: *.DATX (時刻歴データ)
 - from Head Acoustics: *.hdf, *.dat (時刻歴データ)
 - from HBM Somat: *.sie (時刻歴データ)
 - from MTS : *.rpc (時刻歴データ)
 - from HP analyzers: *.sdf (標準データフォーマット、関数データ)
 - HDF5[®] (階層データフォーマット)
- PDM へのエクスポートインターフェースにより、測定データおよび処理データを既存のローカルPDM データベース、もしくはネットワーク上のPDM データベースに保存可能となり、既存のデータベース管理ソリューションの継続性を維持できます。

8400-D, E, F 型 BK Connect Finite Element Interface

有限要素 (FE) モデルのインポートは、ジオメトリ・データやモデル・データとは別に、縮小された質量行列 (Nastran、またはAbaqus) も含まれます。これにより、有限要素解析 (FEA) の結果とテスト結果の相関だけでなく、FE モデルのアニメーションが可能になります。FE モデルのインポートはUFF ファイル、もしくは下記のオプションを用いて、Nastran, Ansys, Abaqusのファイルをインポートすることが可能です。

- Nastran FE モデルのファイルインポート: Nastran Interface 8400-D型で利用可能
- Ansys FE モデルのファイルインポート: Ansys Interface 8400-E型で利用可能
- Abaqus FE モデルのファイルインポート: Abaqus Interface 8400-F型で利用可能

Team Server (チームサーバー)

データベースにデータを保存することは、閉じられたソフトウェア環境で作業する場合、比較的簡単で安全な方法です。しかしながら、データを手早くアーカイブしたい場合やファイルとしてアーカイブするのが適当な場合、あるいは、ローカルにバックアップを作成したい場合、PCのハードドライブにインストールされたチームサーバーが活躍します。同じソフトウェアを持たないチームメンバーとデータを共有したい場合、チームサーバーの共有フォルダによるデータ共有がより良いソリューションとなります。

プロジェクトデータの保存の選択肢

ローカルPCにインストールしたチームサーバーにより、ハードドライブの選択したりリポジトリに素早く簡単にデータを保存できます。BK ConnectはデフォルトでBK Connectのデータベースにデータを保存しますが、このローカルリポジトリはデータのローカルバックアップとしてだけでなく、BK Connectで測定、分析したデータの共有にも使用できます。

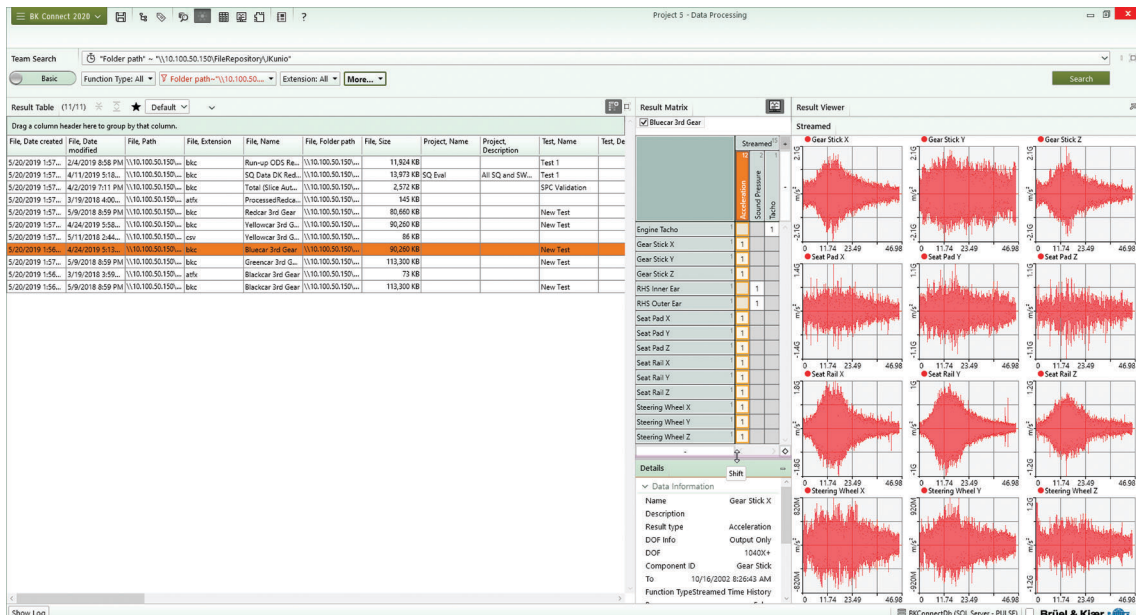
チームでフォルダを共有

Windows Server[®] にインストールされたTeam Serverは、チームのメンバー全員がアクセスできる共有フォルダ (リポジトリ) によるコラボレーションを可能にします。リポジトリは、Team Serverがインストールされた同じサーバー (インデックスサーバー)、または別のネットワークドライブに設定できます。

リポジトリへのデータの共有は、BK Connectのプロジェクト ブラウザでデータを右クリックするだけです。共有するデータのフォーマットはBK Connectがサポートするいずれのフォーマットも選択できますが、インデックスに使用できるより多くの属性を持ち、これによりデータの検索が容易になる.bkcファイルの使用を推奨します。

チームのどのメンバーも、BK Connectのチーム検索ツールを使って、リポジトリ内のデータの検索、プレビューの表示、インポートが可能です。

図4
BK Connect の
チーム検索



仕様 – BK Connect Data Viewer モジュール

このWindows® ベースの解析ソフトウェアは、インストールメディア (DVD もしくは USB) で提供します。 ライセンスは、PCのホストID、もしくはドングルに対してのノードロック、またはネットワークサーバーに付与されるフローティングになります。

システム

PCシステム要件

- Microsoft® Windows® 10 Pro もしくは Enterprise (x64) の Current Branch (CB) または Current Branch for Business (CBB) サービスモデル
- Microsoft® Office 2016 (x32 or x64) または Office 2019 (x32 or x64)
- Microsoft® SQL Server® 2017

推奨システム構成

- Intel® Core™ i9, 3 GHz processor 以上
- 32 GB RAM
- 100 GB 以上の空き容量を持つ、1TB ソリッドステートドライブ (SSD)
- 1 Gbit イーサネットネットワーク*
- Microsoft® Windows® 10 Pro または Enterprise (x64) with CB
- Microsoft® Office 2019 (x32)
- Microsoft® SQL Server® 2017
- スクリーン解像度 1920 × 1080 ピクセル (full HD)

* 専用のデータ収集ネットワーク (LAN もしくは WAN) を推奨。フロントエンドからのデータのみを扱うネットワークが、データ安定性を向上させます。

仕様 – 8400型 BK Connect データビューア

8400型 BK Connect データビューアは、全てのアプリケーション (ハードウェアセットアップを除く) で必須となるライセンスです。すべての他のアプリケーションや機能は、この前提ライセンスへ追加されます。

ソフトウェア前提要件

- システム要件を参照

インポート/エクスポート

サポートするデータファイルフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> • .bkc (BK Connect ネイティブフォーマット) <ul style="list-style-type: none"> - 関数および時刻歴のデータ • .csv (定義済みフォーマットに基づく): <ul style="list-style-type: none"> - レコーディングデータ (横軸が等間隔の時間) - 周波数領域の2D複素数データ - 周波数領域の2D実数データ (FFT および CPB) - 時間に対する分析値を含む3Dデータおよび次数スライス
プロジェクトファイルのインポート/エクスポート	プロジェクトは外部への“転送”ファイル (*BKConnectTemplate もしくは *.BKConnectProject) として、インポートしたデータや処理済のデータと含めるか、含めないかを選択してエクスポートできます。これにより、データベース外部でのアーカイブ、他のBK Connect ユーザー間で共有、ある時点の状態の保存、プロジェクトテンプレートの作成が可能です。

レポート作成	Microsoft® Word, Excel®, PowerPoint® のそれぞれが独立したレポートタスクでテンプレートを作成することができます。これは、特にレポート (報告) の標準化に役立ちます。
データ管理	データ管理はMicrosoft® SQL Server® データベースのデータモデルを利用します。BK Connectの起動時には、最後に使用したデータベースへの接続を自動的に行います。 ユーザーはセッション中にいつでも別のデータベースに接続することができますが、一度に1つのデータベースにしか接続することが出来ません。BK Connect のインストール時にローカルデータベースが作成されます。 オプションの設定により、BK Connect サービスを使用して同時に1ユーザーのみ、ネットワーク上のデータベースを使用することができます。
データベース操作	データベースは、作成、削除、バックアップ、復元の操作が行えます。
データベース移行ツール	アプリケーションの使用開始時にはSQL Lite データベースを使い、後でSQL Server データベースにデータの移行を可能にするツール
データ保存 (データファイル、レポートテンプレート、画像)	ディスク上のファイルシステムを使用し、データベースはこれを参照します。 ファイルサイズの制限はディスクのみに依存します。
メタデータ 及び Device Under Test (被試験体)	試験に関する必要な情報を文書化するために、ユーザーにより定義。カスタマイズ検索を用いて、BK Connect ローカルデータベース上の入力データおよび結果の表示が可能
データ共有	メタデータを含む、全ての結果を一つのファイルに持たせ、BK Common ファイルとして外部にエクスポートが可能です。

ローカルディスク上のチームサーバー

エクスポート	<ul style="list-style-type: none"> 測定・分析データのファイルはプロジェクトブラウザから保存またはエクスポート Microsoft SQL データベースは不要
インポート	<ul style="list-style-type: none"> BK Connect プロジェクトに直接インポート
ファイルフォーマット	BK Connect でサポートするすべてのファイルタイプを使用可能ですが、インデックスに利用できる属性の多い.bkcファイルを推奨
データ検索	<ul style="list-style-type: none"> 複数の属性 (メタデータ) により検索が可能 二つのデータ検索方法: <ul style="list-style-type: none"> - 基本: ドロップダウンメニューから検索基準を選択 - 高度: 標準の検索記法により検索文字列を入力 検索文字列は保存と再利用が可能 (お気に入り) 検索結果の概要を結果マトリクスに表示 結果マトリクスで選択したデータをグラフ、テーブルに表示

ユーザー定義ディスプレイ

ユーザー定義ディスプレイタスクは、結果のグラフを表示するための機能です。複数のグラフディスプレイは、測定値と結果の表示と比較を可能にします。データはプロジェクトブラウザからドラッグ&ドロップでして表示します。

グラフタイプ	<p>下記のグラフタイプによる関数データの表示が可能:</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーターフォール ウォーターフォール (ステップ) カラーコンター (3種類) キャンベルダイアグラム バー カーブ カーブ (ステップ) オーバーレイ オーバーレイ (全体) マルチバリュー ライン
グラフの重ね描き	同じカーブのグラフに複数の関数を重ね描きが可能
グラフ軸	<ul style="list-style-type: none"> X 軸スケール: リニア、対数、CPB Y 軸スケール: リニア、対数、dB Z 軸スケール: リニア、対数
複素データ表示	<ul style="list-style-type: none"> 実部 虚部 振幅 位相 ナイキスト線図 ボード線図
スペクトル振幅単位	<ul style="list-style-type: none"> 実効値 (RMS) パワー (PWR) パワースペクトル密度 (PSD) 実効値スペクトル密度 (RMSSD) エネルギースペクトル密度 (ESD) ピーク (Peak) ピーク-ピーク (PkPk)
周波数重み付け特性	ポスト処理 A-, B-, C-, D-, L-特性
$j\omega$ 重み付け	$1/j\omega^2, 1/j\omega, 1, j\omega, j\omega^2$ (一回または二回の微分、積分)
カーソル	<p>以下のカーソルが使用可能 (ディスプレイタイプに依存):</p> <ul style="list-style-type: none"> Main (一般) Delta (デルタ, 範囲指定) Order (次数) Reference (参照) Harmonic (高調波) Sideband (側帯波)
カーソルの同期	別のグラフのカーソルとの同期が可能。表示されているデータの種類に関わらず、一方のカーソルを動かすと別のカーソルも合わせて移動
カーソル値	<ul style="list-style-type: none"> オーバーオールレベル 補正周波数 カーソル位置のインデックス値 デルタカーソルの合算 デルタカーソルの合算/全体 最大、最小値 近接する高調波次数 近接する側帯波次数 参照 共振 残響 スライス定義 ステータス 全体の総和

ソフトウェア前提要件

- 8400型、もしくは8400-NT型 BK Connect Data Viewer
- 含まれるライセンス
 - 7767-A型 PULSE Data Manager (PDM)ライセンス -PULSE LabShop アプリケーションに対するデータベース機能
- 8400型への追加機能
 - データテーブルビューア サブタスク - プロジェクト データの表示と比較が可能
 - 結果マトリックス ビューア サブタスク - 大量の試験結果をマトリックスに整理し、データの選択と比較を簡単に実行
 - マトリックス計算 サブタスク - 標準的な数学及び統計演算が可能

データテーブルビューア

データソース	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトブラウザからドラッグ&ドロップ
データのオーバービュー	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー構成可能なコラムを持つデータテーブル。ユーザー定義可能なメタデータや幅広いデータ記述子を含む。 コラムの組み合わせを使った高度なフィルタリングと分類能力で、即座に対象のデータを抽出
データ選択	<ul style="list-style-type: none"> ヘッダーバーのコントロールで、テーブルの選択を自動でインクリメント。すべてのデータを素早く、簡単にスキャンが可能 テーブルで選択したデータのグラフを自動表示
データハンドリング	<ul style="list-style-type: none"> テーブルで選択したデータの自動レポート生成

結果マトリックスビューア

結果のソース	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトブラウザからドラッグ&ドロップ
結果のオーバービュー	<ul style="list-style-type: none"> 結果を信号名 (行) と分析の種類 (列) のマトリックスに整理 結果のグルーピング比較可能な類似の結果は、マトリックスの同じセルに含まれる
結果の選択	<ul style="list-style-type: none"> 選択したセルのデータを自動で表示 - スカラーはテーブルに、関数データはグラフに表示される
結果ハンドリング	<ul style="list-style-type: none"> 自動レポート作成 - Microsoft® Word または PowerPoint® の新規文書または前もって作成したテンプレートを使用

マトリックス計算

関数四則演算	選択した関数データに別のひとつのデータを用いて処理 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 加算 引算 乗算 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 割算 dB で加算 dB で引算 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> 加算 引算 乗算 	<ul style="list-style-type: none"> 割算 dB で加算 dB で引算
<ul style="list-style-type: none"> 加算 引算 乗算 	<ul style="list-style-type: none"> 割算 dB で加算 dB で引算 		
関数演算	選択した関数データの処理 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自然対数: Ln e のべき乗: e の関数の振幅値のべき乗 常用対数: Log10 10 のべき乗: 110 の関数の振幅値のべき乗 逆数 平方根 2乗 べき乗, x^y 絶対値 dB: 値 関数の振幅値をユーザー定義の参照値で dB 変換 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 実部: 複素データの实部 虚部: 複素データの虚部 振幅: 複素データの振幅 位相: 複素データの位相 複素共役: 複素データの複素共役 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> 自然対数: Ln e のべき乗: e の関数の振幅値のべき乗 常用対数: Log10 10 のべき乗: 110 の関数の振幅値のべき乗 逆数 平方根 2乗 べき乗, x^y 絶対値 dB: 値 関数の振幅値をユーザー定義の参照値で dB 変換 	<ul style="list-style-type: none"> 実部: 複素データの实部 虚部: 複素データの虚部 振幅: 複素データの振幅 位相: 複素データの位相 複素共役: 複素データの複素共役
<ul style="list-style-type: none"> 自然対数: Ln e のべき乗: e の関数の振幅値のべき乗 常用対数: Log10 10 のべき乗: 110 の関数の振幅値のべき乗 逆数 平方根 2乗 べき乗, x^y 絶対値 dB: 値 関数の振幅値をユーザー定義の参照値で dB 変換 	<ul style="list-style-type: none"> 実部: 複素データの实部 虚部: 複素データの虚部 振幅: 複素データの振幅 位相: 複素データの位相 複素共役: 複素データの複素共役 		
スケーリング	ひとつの関数データに対して計算 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> Scale by Real: 実数スカラーをかける Scale by Complex: 複素数スカラーをかける </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> Scale by Averaging Time: 平均時間をかける 例えば、音響暴露レベルを得るなど (SEL, ASEL, ...) </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> Scale by Real: 実数スカラーをかける Scale by Complex: 複素数スカラーをかける 	<ul style="list-style-type: none"> Scale by Averaging Time: 平均時間をかける 例えば、音響暴露レベルを得るなど (SEL, ASEL, ...)
<ul style="list-style-type: none"> Scale by Real: 実数スカラーをかける Scale by Complex: 複素数スカラーをかける 	<ul style="list-style-type: none"> Scale by Averaging Time: 平均時間をかける 例えば、音響暴露レベルを得るなど (SEL, ASEL, ...) 		
統計	ひとつの関数データに対して計算、出力はひとつの値 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 平均値 標準偏差 分散 歪度 尖度 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 最大値 最小値 RMS 値 クレストファクター 合計値 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> 平均値 標準偏差 分散 歪度 尖度 	<ul style="list-style-type: none"> 最大値 最小値 RMS 値 クレストファクター 合計値
<ul style="list-style-type: none"> 平均値 標準偏差 分散 歪度 尖度 	<ul style="list-style-type: none"> 最大値 最小値 RMS 値 クレストファクター 合計値 		
関数統計	ひとつの関数データに対して計算、出力はひとつの関数 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 平均 標準偏差 平均 - 標準偏差 平均 + 標準偏差 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 最小 最大 合計 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> 平均 標準偏差 平均 - 標準偏差 平均 + 標準偏差 	<ul style="list-style-type: none"> 最小 最大 合計
<ul style="list-style-type: none"> 平均 標準偏差 平均 - 標準偏差 平均 + 標準偏差 	<ul style="list-style-type: none"> 最小 最大 合計 		

周波数 重み付け	ひとつの関数に対して計算	<ul style="list-style-type: none"> リニア: スペクトルから周波数重み付けを除去 A 特性: A 特性を適用 (最初に現在の重み付けを除去) B 特性: B 特性を適用 (最初に現在の重み付けを除去) C 特性: C 特性を適用 (最初に現在の重み付けを除去) 	<ul style="list-style-type: none"> D 特性: D 特性を適用 (最初に現在の重み付けを除去) 一回積分 二回積分 一回微分 二回微分
補間	ひとつの関数に対して計算	<ul style="list-style-type: none"> Linear vs Frequency: 周波数の最小、最大、間隔により補間 Linear vs RPM: RPM の最小、最大、間隔により補間 	<ul style="list-style-type: none"> Linear vs Time: 時間の最小、最大、間隔により補間

仕様 – BK Connect File Importer Options

8400-B, C, D, E, F型は、すべてのBK Connect アプリケーションにおけるデータのインポート/エクスポート機能を拡張するためのオプションです。

ソフトウェア前提要件

- 8400型、もしくは8400-NT型 BK Connect Data Viewer

8400-B型 Native File Importers

下記のインポート/エクスポート機能をすべてのアプリケーションに追加します:

ファイルフォーマット ブリュエル・ケアのアプリケーションで使われるネイティブなファイルフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> .pti (PULSE時刻歴データ) .dat (時刻歴データ、補助ファイル*.rec ファイルが必須 – インポートのみ) .txt (PULSE ASCII 時刻歴データと関数データ) – インポートのみ .ati (Test for I-deas 時刻歴データ) .afu (Test for I-deas 関数データ) – インポートのみ .unv and .uff (時刻歴および関数データ) .wav (時刻歴データ) .pnrf (HBM[®] Perception and Evidas 時刻歴データ)
インポート /エクスポート	<ul style="list-style-type: none"> サブタスク LabShop ImportおよびPDM Importからインポート: LabShopのMeasurement Organiser および Function Organiser から直接インポート PULSE LabShopおよびPULSE DataManager(PDM) からエクスポートしたPULSE ASCII ファイルを BK Connectへインポート Microsoft[®] Excel へのエクスポート ファイルは、元のフォーマットのままプロジェクトにリンクされ、ネイティブなBK Connect フォーマットに変換されることなく扱われるか、もしくはコピーをBK Connect フォーマットに変換して扱われます。ファイルはBK Connect データベースの管理下に置かれます。 PDMへのエクスポートにより、測定または処理されたデータは、既存のローカルもしくはネットワークPDMデータベースに保存されます。 PULSE LabShopソフトウェアのM1契約が有効なライセンスユーザのために、7709型 PULSE LabShop Viewerが含まれます。

8400-C型 External File Importers

下記のインポート/エクスポート機能をすべてのアプリケーションに追加します:

ファイルフォーマット サードパーティーの ファイルフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> .atfx ((ASAM-ODS 時刻歴データ) .DATX (DSPCon 時刻歴データ) .hdf and .dat (Head Acoustics 時刻歴データ) .rpc (MTS RPC III 時刻歴データ) .sie (HBM Somat t時刻歴データ) – インポートのみ .sdf (HP アナライザ標準データ・フォーマット、時刻歴/関数データ) HDF5[®] (h階層データ・フォーマット)
インポート /エクスポート	ファイルは、元のフォーマットのままプロジェクトにリンクされ、ネイティブなBK Connect フォーマットに変換されることなく扱われるか、もしくはコピーをBK Connect フォーマットに変換して扱われます。ファイルはBK Connect データベースの管理下に置かれます。

8400-D型 Nastran Finite Element Interface

下記のインポート/機能をすべてのアプリケーションに追加します:

- Nastran 有限要素モデル (MSC, NEI, NX)

8400-E型 Ansys Finite Element Interface

下記のインポート/機能をすべてのアプリケーションに追加します:

- Ansys 有限要素モデル

8400-F型 Abaqus Finite Element Interface

下記のインポート/機能をすべてのアプリケーションに追加します:

- Abaqus 有限要素モデル

ソフトウェア前提要件

- ・ 8400型 もしくは 8400-NT型 BK Connect Data Viewer
- ・ Team Server のインストール (詳細は、BP 0016を参照)

チームデータ共有

エクスポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測定・分析データのファイルはプロジェクトブラウザから保存またはエクスポート ・ Microsoft SQL データベースは不要
インポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ BK Connect プロジェクトに直接インポート ・ BK Connect ユーザー間で共有したデータを複数のプロジェクトで使用し、追加の処理を行ったりすることができます。
ファイルフォーマット	BK Connectでサポートするすべてのファイルタイプを使用可能ですが、インデックスに利用できる属性の多い .bkcファイルを推奨
データ検索	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の属性 (メタデータ) により検索が可能 ・ 二つのデータ検索方法: <ul style="list-style-type: none"> - 基本: ドロップダウンメニューから検索基準を選択 - 高度: 標準の検索記法により検索文字列を入力 ・ 検索文字列は保存と再利用が可能 (お気に入り) ・ 検索結果の概要を結果マトリクスに表示 ・ 結果マトリクスで選択したデータをグラフ、テーブルに表示

ご注文のための情報*

8400-NT型	BK Connect Data Viewer (無償ビューア)
8400-X型	BK Connect Data Viewer
8400-A-X型	BK Connect Data Viewer (advanced)
8400-B-X型	BK Connect Native File Importers
8400-C-X型	BK Connect External File Importers
8400-D-X型	BK Connect Nastran Interface
8400-E-X型	BK Connect Ansys Interface
8400-F-X型	BK Connect Abaqus Interface

その他のBK Connect Softwareモジュールとバンドル

ハードウェアセットアップ モジュール

8401-X型	BK Connect Hardware Setup
8401-A-X型	BK Connect Hardware Setup (advanced)
8401-V-X型	BK Connect Virtual Hardware Setup

データ収録アプリケーションモジュール

8402-X型	BK Connect Time Data Recorder
---------	-------------------------------

データ処理アプリケーションとオプションモジュール

8403-X型	BK Connect Data Processing
8403-A-X型	BK Connect Data Processing, Specialist
8405-B-X型	BK Connect Advanced Frequency Analysis Option
8405-C-X型	BK Connect CPB Option
8405-E-X型	BK Connect Order Analysis Option
8405-F-X型	BK Connect Order Tracking Option
8405-G-X型	BK Connect Sound Quality Metrics Option

データ収集バンドル

8402-NS型	BK Connect 時刻データ収集パック - 8400型, 8401型, 8402型を含むノードロックライセンス
8402-A-NS型	BK Connect 時刻データ収集パック (advanced) - 8400型, 8400-C型, 8401型, 8401-A型, 8402型を含むノードロックライセンス

データ分析バンドル

8403-NS型	BK Connect データ分析パック - 8400型, 8401型, 8403型を含むノードロックライセンス
----------	---

データ収集・分析バンドル

8404-NS型	BK Connect データ収集・分析パック - 8400型, 8401型, 8402型, 8403型, 8403-A型を含むノードロックライセンス
8404-A-NS型	BK Connect データ収集・分析パック (advanced) - 8400型, 8400-A型, 8400-B型, 8401型, 8401-A型, 8402型, 8403型, 8403-A型を含むノードロックライセンス

チームデータ共有

8400-T-FY型	BK Connect Team Server, シングルユーザー, 年間フローティングライセンスとサポート契約
------------	---

* "X" はライセンス形態を示します。N: ノードロック もしくは F: フローティング

Software Maintenance and Support Agreements*

M1-8400-X	8400型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8400-A-X	8400-A型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8400-B-X	8400-B型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8400-C-X	8400-C型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8400-D-X	8400-D型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8400-E-X	8400-E型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8400-F-X	8400-F型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8401-X	8401型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8401-A-X	8401-A型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8401-V-X	8401-V型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8402-X	8402型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8403-X	8403型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8403-A-X	8403-A型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8405-B-X	8405-B型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8405-C-X	8405-C型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8405-E-X	8405-E型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8405-F-X	8405-F型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8405-G-X	8405-G型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8402-NS	8402-NS型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8402-A-NS	8402-A-NS型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8403-NS	8403-NS型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8404-A-NS	8404-A-NS型 ソフトウェア保守、サポート契約
M1-8405-NS	8405-NS型 ソフトウェア保守、サポート契約

* 契約満了の日付は、契約日より決定されます。

スペクトリス株式会社 ホットィンガー・ブリュエル・ケア事業部
<https://www.bksv.com/ja> info@hbkworl.com
東京 : 03-5609-7734 大阪 : 06-4807-3261 名古屋 : 052-220-6081
Teknikerbyen 28 · DK-2830 Virum · Denmark
Telephone: +45 77 41 20 00 · Fax: +45 45 80 14 05
Local representatives and service organizations worldwide

To learn more about all HBK offerings, pl